

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	令和 8 年 7 月 袋井市教育委員会 定例会
招 集 日 時	令和 8 年 7 月 28 日(火)午後 1 時 30 分
会 議 時 間	午後 1 時 30 分から午後 2 時 43 分まで（1 時間 13 分）
場 所	袋井市教育会館 3 階 I C T 研修室
出 席 者	山本 裕祥 教育長 鈴木 万里子 委員 溝口 知秀 委員 吉田 陽子 委員 山本 茂広 委員 (計：5 人)
傍 聴 者	なし
当局出席者	小池 信良 教育企画課長 戸塚 建司 おいしい給食課長 荒浪 健 教育保育課長 田中 慎 学校教育課長 金原 辰夫 学校教育課参事 小久江 暁子 生涯学習課長 白井 啓子 袋井図書館長 廣岡 真理 教育企画課教育総務係長 (計：8 人) (合計：13 人)
会議に付した 事 件	別紙「令和 8 年 7 月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和 8 年 7 月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：令和 8 年 7 月 28 日(火)

午後 1 時 30 分開会

場所：教育会館 3 階 I C T 研修室

会 議 日 程

- 日程第 1 開 会
- 日程第 2 会議録署名委員の指名；
- 日程第 3 会議録の承認
- 日程第 4 教育長報告
- 日程第 5 教育部月例事業報告
- 日程第 6 議 事（会議に付すべき事件）

議第 10 号 袋井市公告式条例の一部改正に伴う袋井市教育委員会公告式
規則の一部改正について

（１）報告事項

- 報第 69 号 2025 年度 学校給食費の収納状況について
- 報第 70 号 令和 7 年度 保育料の収納状況について
- 報第 71 号 公立幼稚園[浅羽地域 3 園]の再編に向けた調整事項と具体的な進め方について
- 報第 72 号 寄附品の受納について
- 報第 73 号 「袋井市子ども読書活動推進計画（第 4 次）」の中間見直し
の方法について

日程第 7 その他

（１）連絡事項

- ア 文部科学大臣への要望について
- イ 中部学校給食センター探検ツアーについて
- ウ 「F まちプロジェクト」リーフレットについて
- エ 令和 8 年度 静岡理工科大学市民体験入学の実施について
- オ 「こえかけ」第 1 号の発行について

(2) 次回定例会等の予定について

8月教育委員会定例会

令和8年8月18日(火) 午後1時30分 教育会館 3階会議室

日程第8 閉 会

1 開 会

- 教育長

2 会議録署名委員の指名

- 教育長
鈴木委員と山本委員 を指名

3 会議録の承認

- 教育長
6月の定例会の会議録については、承認

4 教育長報告

- 教育長
資料にて確認

5 教育部月例事業報告

- 教育長
資料にて確認

6 議事

【議決事項】

議第10号 袋井市公告式条例の一部改正に伴う袋井市教育委員会公告式規則の一部改正について

○教育企画課長(資料に基づき説明)

議事(協議事項) 議第10号(当初掲示は第13号表記の誤り)袋井市公告式条例の一部改正に伴う「袋井市教育委員会公告式規則」の一部改正(事務局説明:教育企画課長)

- ・表記訂正：本議事は議第 10 号が正しい。
- ・改正趣旨：デジタル時代に対応するため、公告・規程等の公表方法の見直しを行う（地方公共団体のアナログ規制見直しへの対応）。
- ・主な改正点：電磁的記録（市ホームページ）による公告・公表を可能とする（従来は掲示板等の書面掲示のみ）。

規則・規程等の交付に際し、従来の教育長署名を廃止し、教育長名の記載のみとする。

教育長が定める規程等の公表時における教育長印の押印を不要とする。

- ・施行期日：令和 8 年 8 月 1 日（市の同改正と同日）。
- ・提示資料：改正文・新旧対照表・イメージ図等。市長表記の部分は教育長名に置き換えて理解する旨説明。

○教育長

現状に即した形となるためそのまま進める方向で了承。

【報告事項】

報第 69 号 2025 年度 学校給食費の収納状況について

（おいしい給食課長資料に基づき説明）

- ・2025 年度（令和 7 年度）5 月末時点の状況：

現年度分収入未済額：345 万円余、収納率 99.26%（前年度比-0.1 ポイント）。

- ・2024 年度以前の過年度分未済額：129 万円余、収納率 69.8%（前年度比-0.13 ポイント）。

・直近 3 年推移：現年度分未納額は増加、過年度分は金額・人数とも減少。未納金額は増えたが未納人数は減少傾向。

- ・取組状況：個別電話・訪問、保護者面談時の同席、外国語対応（翻訳タブレット・通訳手配）等に対応。過年度分の優先的徴収を実施。

- ・令和 6 年度は不納欠損（債権放棄）2 件で約 303 万 4,000 円処理。

・今後の対応：定期督促通知、早期解消を図る。滞納が常習化する場合は本人同意により児童手当からの差引充当も検討。

納税課・しあわせ推進課等と連携し、徴収困難分について調整。

- ・備考：本年度は小学校給食の保護者負担がなく、対象は幼稚園・中学校分のみ。

<質疑・意見>

○鈴木委員

滞納は生活保護等によるものが多いのか。

○おいしい給食課長

生活保護・就学援助受給者は基本的に徴収対象外。滞納者の多くは以前は収入があったが現在支払えない等のケースが多い。生活保護支給時の直接納付対応は本人同意が前提であり、連携強化が必要。

○学校教育課長

保護者と学校で返済計画を設定して進めている。

教育長・他委員：給食課職員（栄養士）が徴収業務に従事している点を評価するとともに負担軽減の必要性を指摘。学校職員が徴収しない運用への検討（他自治体の動向）についても調整予定。

報第 70 号 保育料の収納状況報告

（教育保育課長より資料に基づき説明）

- ・令和 7 年度状況：現年分：保育所保育料 未済額 76 万 3,050 円、収納率 99.41%。幼稚園預かり保育 未済ゼロ（収納率 100%）。
 - ・滞納繰越分：保育所保育料 約 240 万 870 円、幼稚園関連は微額。
 - ・不納欠損（地方自治法に基づく 5 年経過処理）：保育所 2 万 5,000 円、幼稚園預かり 4,150 円（各 1 件、海外出国等で処理）。
 - ・過年度繰越傾向：令和 5 年 400 万、令和 6 年 300 万、令和 7 年 200 万と減少傾向。
 - ・最大滞納額：現年分 22 万円程度、過年度保育所で最大 75 万円程度。
 - ・今後の取組：高額滞納者を中心に児童手当からの充当を進める。11 月を強化月間として戸別訪問等の滞納整理を実施。
- 幼稚園預かりは園長から直接保護者への納付依頼を継続。

＜質疑・意見＞

○溝口委員

口座振替の導入状況について。

○おいしい給食課長

ほとんどは口座振替だが、納付書希望の家庭も若干存在。基本的に口座振替の推進を進める方針。

○教育長

収納・徴収については一歩ずつ成果が出ていることを評価。引き続き各課連携で対応するよう指示。

報第 71 号 公立幼稚園[浅羽地域 3 園]の再編に向けた調整事項と具体的な進め方について（教育保育課長資料に基づき説明）

令和 8 年 2 月市議会で示した「袋井市立幼稚園の教育保育環境の在り方」最終案に基づき、来年度(4 月)から浅羽地域内の 3 園を再編し新園を開設するため、調整事項と状況の共有を行う。

長寿命化のための耐力度調査等は現時点で見送り、必要最小限の改修で進める方針。

・新園の運営方針・計画

浅羽地域 3 園の園長・教頭等が検討を進め、園の目標は本年 6 月に策定。全体計画は翌年 2 月までに作成予定。地域との関わりを維持するため、地域資源を生かした行事や地域住民が参加できる仕組みを整備。コミュニティセンターを窓口調整を進める。

保護者組織は統合し、活動計画等を年内に作成予定。

5 月 20 日に園児 46 名による交流（登園～降園体験）を実施し、児童の反応は良好（遊びや交流、弁当時間等で好評）。

再編後の服装は原則自由とし、用品取扱や式典等の調整を実施。

・園名募集

応募期間：7 月 1 日～31 日（応募箱、郵送、メール、QR 等で受付）

選考：教育委員会事務局が候補を抽出し、園児・保護者・地域の意見聴取及び地域の協議会で協議の上、市で最終決定・公表。

・拠点園の役割強化

公立幼稚園を幼保小接続のモデルと位置付け、かけ橋期の交流活動・教育内容共有を推進。教育委員会のコーディネーター等が学校とも連携。

再編後に地域参観会等で公立幼稚園の魅力発信を行う予定。

・防災拠点等の取扱い

市内の避難所配置（62 か所）や収容バランス等を踏まえ、地域管理部と協議の上で指定園舎の取扱いを決定。跡地利活用は市の検討委員会で検討。

・施設改修等

施設改修は必要箇所に対して順次実施。浅羽北幼稚園のテラス屋根修繕等を来年度に実施予定。園名看板等の替え作業は 1 月頃から実施。

市内公立幼稚園は重量鉄骨造で平均想定使用年数 60 年、耐震対策等は実施済み。

園児数は計画推計より実数が下回る傾向（令和 7 年見込み 220 に対し実 197、令和 8 年見込み 200 に対し実 156）。将来需要の正確な予測は困難。

・スケジュール

再編検討会で今後も協議を継続。園名称は再編 1 年前に決定予定。必要な修繕を順次実施。

<質疑・意見>

○山本委員

廃園となる園の地域行事等を継続するため、コミュニティセンター等が主導する具体策を確認。

○教育保育課長

七夕会、竹細工、豆まき等の地域行事は引き続き園と地域で調整・継続する予定。コミュニティセンターを窓口調整中。

○山本委員

地域住民の感情面に配慮したきめ細かな対応を要望。

○吉田委員

保護者の負担感や不安、園児の環境変化（少人数から 50 人規模等）に対するフォロー、来年度の職員配置について注視するよう要望。

○教育保育課長

保護者アンケート等でも同種の不安が出ている。個々の子どもに寄り添ったフォローが必要であり、現職員が対応できる体制を確保する方向で検討している。

○教育長

再編は継続的な取組であり、今後も意見を反映して進める旨。

再編後の公立幼稚園体系は、こども園 5 園＋公立幼稚園 3 園の合計 8 園となる予定。

報第 72 号 寄附品の受納について

（教育保育課長資料に基づき説明）

- ・ニチアス株式会社袋井工場（関係先）より寄附金を受領した旨の報告。

- ・ 寄附金額：30 万円。
- ・ 使用用途：園の図書等（絵本等）の購入に充当する予定。
- ・ 配分先：公立幼稚園および認定こども園の複数園で活用予定。
- ・ 幼稚園：三川幼稚園、浅羽西幼稚園、浅羽南幼稚園
- ・ 認定こども園：山梨こども園、若葉こども園、浅羽東こども園
- ・ 受領・御礼の実施：教育保育課長と担当が寄附先（ニチアスの工場）を訪問し、御礼と園での活用状況を報告した。併せて、近隣の小規模園（例：キラッと）等の園児が工場訪問して感謝を伝えた事例があり、寄附先より喜ばれた旨の報告があった。
- ・ 今後の取扱い：再編等で園が移転・統合する場合は、使用可能な図書等は最終的に新しい園へ移管して活用する予定であると教育長が補足。

<質疑・応答>

○吉田委員

浅羽西幼稚園が残り短期間であるが、所蔵物は北幼稚園へ持っていくのかとの確認。

○教育長

使用できるものは最終的にすべて持ち運び、新園等で活用する旨了承。

報第 73 号 「袋井市子ども読書活動推進計画（第 4 次）」の中間見直しの方法について

・ 計画の概要

「袋井市子ども読書活動推進計画」は児童の読書活動推進を目的とし、平成 19 年策定、第 4 次（令和 4 年 3 月策定）で期間は令和 4 年度～令和 13 年度（2031 年度）。

・ 中間見直しの目的：本年度は中間年のため、計画の進捗を確認し、国・県の施策動向や社会情勢を踏まえ整合性を図るため見直しを実施。

関係団体ヒアリング、図書館協議会・地域教育委員会等の意見聴取、パブリックコメントを経て年内に市議会へ見直し案提示、年度末までに改定する方針。

- ・ 見直しの進め方（主な項目）：進捗状況の確認と国・県計画の変更点整理
- ・ ボランティア等関係団体との意見交換
- ・ 図書館協議会での協議
- ・ パブリックコメントの実施

- ・教育委員会の意見を踏まえ最終案を市議会へ報告

- ・スケジュール：

- 12月：市議会へ見直し案提示（案提示後パブコメ実施）

- 2月：教育委員会定例会で最終案提示

- 3月：最終決定・改定

- ・見直しの範囲：基本目標・基本方針・施策の大枠は維持する見込み。

具体的な62項目と6指標については、完了・達成済みの項目は次段階の内容へ置換（例：学校図書館システム連携 → 利活用フェーズへ、電子図書導入済み → 利活用へ）等、軽微かつ実務的な見直しを想定。

今後：館内関係者やボランティアと協議を重ねて進める。

<質疑・意見交換>

○溝口委員

まちじゅう図書館(学校図書館と市立図書館システム連携後)の目に見える効果について質問（夏休み等の読書行動の変化など）。

○図書館長

システム連携は約1年半前より運用。成果として学校図書館の1人当たり貸出冊数が増加（中学校は導入前の約2倍、小学校は導入後大幅増との報告）。図書室来室者が増え、図書委員の活動意欲向上等の職員の実感もあると説明。ただし貸出増＝読書習慣定着とは直結しないため、定量・定性の双方で評価を続ける必要があると述べる。

○溝口委員

電子図書（タブレット利用）への反応や管理状況について質問。

○図書館長

教員側の課題として、タブレット利用中に教材以外のサイト閲覧等の「遊び」との判別が難しく、管理面での懸念があることを報告。小児にはログイン・操作が複雑で指導負担が生じる点も指摘。中高年齢層では利活用しやすいが、運用上の工夫が必要との見解を示した。

○山本・吉田・鈴木委員等の発言

「まちじゅう図書館」を更に広げ、市民も学校図書館を利用できるようにして地域と学校の連携を深めてはどうか、図書室の開館時間確保や管理人配置などの課題解消を含め人員・予算面での支援が必要、紙媒体への回帰傾向やAI利用による読書感想文の自動作成等の現状について意見・情報提供があった。

○学校教育課長

学校図書室は日常的に開けている学校もあれば閉鎖しているところもあり、人員配置に差があると説明。

○教育長

中間見直しは基本方針の変更を伴うものではなく、現状に即した調整を行うことを確認。

電子図書等の活用可能性と課題に留意しつつ、子どもの読書機会拡充に向け取り組みを継続する。

日程 7 その他

(1) 連絡事項

ア 文部科学大臣への要望について

イ 中学校給食センター探検ツアーについて

ウ 「F まちプロジェクト」リーフレットについて

エ 令和 8 年度 静岡理工科大学市民体験入学の実施について

オ 「こえかけ」第 1 号の発行について

(2) 次回定例会の予定について

8 月教育委員会定例会

令和 8 年 8 月 18 日(火) 午後 1 時 30 分 教育会館 3 階 ICT 研修室

日程 8 閉 会

(午後 2 時 43 分閉会)